

GPT-4 でのテクニカル分析

これは Nvidia の株価の日足チャートです。縦軸の価格(0~500)と横軸の年月(2022年10月~2023年10月)を確認してください。その上で、一般的にテクニカル分析の視点から指摘できることを5つ示してください。なお、右端の縦軸について、単位は米ドルで、緑の435.17は最新の価格、黄色の449.23は最新の50MAの値、紫色の324.07は最新の200MAの値です。期間中の最高値は502.66(2023-08-24)、最安値は108.13(2022-10-13)でした。



Nvidia の株価の日足チャートに基づき、テクニカル分析の視点から指摘できることを以下に 5 つ示します。

1. **移動平均のクロス:** チャート上で 50 日移動平均(黄色い線)が 200 日移動平均(紫色の線)を上から下にクロスした時点は「デッドクロス」とされ、売りのシグナルと解釈されることがあります。逆に、50 日移動平均が 200 日移動平均を下から上にクロスした時点は「ゴールデンクロス」とされ、買いのシグナルと解釈されることがあります。このチャート上では、2023 年初頭にゴールデンクロスが形成されている。
2. **サポートとレジスタンス:** 108.13 米ドルは 2022 年 10 月の最安値であり、このレベルはサポートラインとして機能する可能性があります。一方、2023 年 8 月の最高値 502.66 米ドルはレジスタンスラインとして機能する可能性がある。
3. **移動平均の位置:** 現在の価格(435.17 米ドル)は 50 日移動平均(449.23 米ドル)よりも低く、200 日移動平均(324.07 米ドル)よりも高い位置にあります。これは中期的な上昇トレンドの中での短期的な下落を示唆している可能性があります。
4. **ボリューム:** チャート下部のボリュームバーを確認すると、価格の大きな変動がある日には取引ボリュームが増加している場面が見受けられます。高い取引ボリュームはその価格動きの強さや信頼性を示す指標となることが多いです。
5. **トレンド:** 2022 年 10 月から 2023 年 8 月までの期間に、価格は上昇トレンドを描いています。しかし、2023 年 8 月以降は一定のレンジ内での横ばいの動きとなっており、上昇トレンドが一旦止まっている可能性が考えられます。

これらのテクニカル分析の指摘は、株価の動きや将来的な方向性を予測するための一つの手段です。投資判断をする際には、ファンダメンタル分析やその他の要因も考慮に入れることが重要です。

(続く)

より長期で複雑なチャートの場合

これは Nvidia の株価の日足チャートの表示範囲を拡大したものです。縦軸の価格(0~500)と横軸の年月(2019年6月~2023年10月)を確認してください。その上で、やはり同様に、一般的にテクニカル分析の視点から指摘できることを5つ示してください。なお、右端の縦軸について、単位は米ドルで、緑の435.17は最新の価格、黄色の449.23は最新の50MAの値、紫色の324.07は最新の200MAの値です。期間中の最高値は502.66(2023-08-24)、最安値は33.15(2019-06-03)、中間の山の高値は346.47(2021-11-22)、中間の谷の安値は108.13(2022-10-13)でした。



Nvidia の株価の日足チャートの拡大版に基づき、テクニカル分析の視点から指摘できることを以下に 5 つ示します。

1. **長期的な上昇トレンド:** 2019 年 6 月から 2023 年 8 月までの大部分の期間を通じて、Nvidia の株価は明確な上昇トレンドを描いています。特に 2022 年の初めから 2023 年の 8 月までの急激な上昇が注目されます。
2. **ヘッドアンドショルダーズ:** 2021 年から 2022 年の初めにかけて、ヘッドアンドショルダーズの形が見られます。このパターンは、山の高値(346.47)を頭、それより前後のピークを肩として認識できる。このパターンは一般的にリバーサル(反転)のサインとされ、実際にその後の価格は大きく下落しています。
3. **ダブルボトム:** 2022 年の中間の谷の安値(108.13)を中心に、ダブルボトムの形が認識できます。このパターンは、一つの下落後の同程度のレベルでの 2 回の反発からなるもので、上昇のリバーサルパターンとして知られています。実際に、その後の価格は大きく上昇しています。
4. **移動平均のサポート:** 200 日移動平均(紫色の線)は、特に 2020 年以降、価格のサポートラインとして機能している場面が見受けられます。価格がこのラインを下回ることは少なく、下回った場合もすぐに反発しています。
5. **ボリュームの変動:** 価格が大きく変動するポイントでボリュームが増加していることが確認できます。特に、2022 年の大きな下落時や、2023 年の上昇トレンド中には、高い取引ボリュームが見受けられます。

これらのテクニカル分析のポイントは、過去のデータをもとに未来の動きを予測するためのツールの一部です。株価の動きは多くの要因に影響されるため、投資の判断をする際には他の要因も考慮することが重要です。

(続く)

右端の 2023 年の山も、ヘッドアンドショルダーズとして解釈することはできますか？

ChatGPT

はい、右端の 2023 年の山においてもヘッドアンドショルダーズの形成が考えられます。具体的には、中央の最高値(502.66)を頭とし、その前後のピークを左肩と右肩として認識することができます。

ヘッドアンドショルダーズのパターンは、上昇トレンドの後に形成されると、トップリバーサル(上昇トレンドからの反転)のサインとして解釈されることが一般的です。このパターンが完全に形成され、ネックライン(左肩、頭、右肩を結ぶ線)を下回ると、さらなる下落が予想されます。

現在のチャートを確認すると、右の肩がまだ完全に形成されているとは言い難い状態です。しかし、このパターンの形成を確認するためには、今後の価格動きやネックラインの動きを注意深く監視する必要があります。ネックラインを明確に下回る動きが見られた場合、それは下落の確証となる可能性が高まります。

